



「届けよう看護の声を！
私たちの未来へ」

五弁の花

発行所/兵庫県看護連盟
TEL.078-382-3150
責任者 / 服部 玲子

Withコロナ時代の看護職者 としてのやりがいを求めて

Withコロナ時代の看護政策

特集 友納理緒「わかりやすい看護と法律」

特集 藤田ひさ糸顧問へのインタビュー「看護と選挙」

報告 近畿ブロック看護管理者等政策セミナー / 日本看護連盟通常総会

リモート対談 コロナ禍における「ワクチン接種啓発活動」

Withコロナ時代～部下のやる気を引き出し支えるために～



HANSHIN
ASHIYAHAMA



MINAMIAWAJI
~OTTAMANEGI~

#おっ玉葱

HIMEJI
KAMOJINJA
ANJINARIJINJA

組織を強化して政治力を発揮する

新年のお慶びを申し上げます。

看護連盟の皆様、2年間という長い期間、新型コロナウイルス感染拡大に対峙してきた医療・介護・福祉の現場で働く看護職のすべての皆様に心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。改めて、看護職の働きが尊いものであることを実感しております。

寅年の強い信念にあやかって今年度は「組織を強化して政治力を発揮する」年にしていきます。

看護協会は医療従事者の組織として32,471名（令和3年11月末）の会員を有しています。看護連盟は看護協会の看護政策を達成するための政治団体であり、看護協会の20%弱の会員で構成されています。

看護職の賃上げはすべての看護職に！

看護職が抱える様々な問題の中に、「看護師の給料が上がらないのはなぜか」という声が長年、言われ続けてまいりました。

昨年11月、岸田内閣総理大臣のもと、新型コロナウイルス感染症に対峙してきた医療現場などで働く看護職員の収入増を図る方針が出されました。11月16日、大島敏子日本看護連盟会長、福井トシ子日本看護協会会長、高原静子東京都看護連盟会長、石田まさひろ参議院議員らが、木原内閣官房副長官に「すべての看護職の賃金の引上げ」を強く要望しました。11月19日には「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に盛り込まれ、賃上げの実現が明確になってきました。看護職の賃金水準と賃金体系の改善は初めてのことです。まさに、看護職議員が政治的手段で解決にとり組んでいる姿です。看護職一人ひとりには議員の選出のため一致団結して代表を送り出しましょう。

現場の声「新型コロナウイルス感染拡大」第3波に伴う状況調査の結果（令和3年5月発行資料）より

兵庫県内看護連盟会員5,874名を対象に「新型コロナウイルス感染拡大」に関するアンケート調査を2年間実施いたしました。1,082名（約18%）の方から回答をいただきました。すでに結果は各施設に配布させていただき、ホームページにも載せております。アンケートの中に連盟会員161名から、「国会議員に取り組んで欲しい看護政策」が寄せられました。

この状況調査の結果を令和3年6月4日、4名の国会議員（高階議員、石田議員、あべ議員、木村議員）と451の関係団体にお送りいたしました。

看護職国会議員には専門性や看護団体の組織票にとどまらない、より政治家らしい振る舞いを求めるといった多くの意見が寄せられました。

日本看護連盟綱領

国民・県民の健康等福祉の向上

看護制度の改革と労働条件の改善



兵庫県看護連盟 会長
服部 玲子

衆議院議員選挙の結果

2021年(令和3年)は選挙の年として、県内では、1月から県・市・町の選挙が南あわじ市を筆頭に18の地域で行われました。皆様投票に行かれましたでしょうか？

宝塚市・伊丹市・豊岡市・朝来市・淡路市・宍粟市・香美町・三木市・上郡町・たつの市・西脇市・佐用町・新温泉町・猪名川町・神河町・多可町・神戸市、そして7月に知事選挙がありました。

10月31日には県内12選挙区選出の第49回衆議院議員選挙が行われました。兵庫県は有権者総数が457万2,143名で衆議院議員選挙では54・29%で日本維新の会の影響下となる地域が大阪府だけではなく兵庫県内でも広範囲の地域に広がりを見せました。

看護職議員は現職の高階恵美子議員が、衆議院議員選挙に転戦をしました。岡山3区のあべ俊子議員、中国地区比例代表で高階恵美子議員での当選で衆議院議員は2名になりました。引き続き会員の皆様からのご支援宜しくお願いいたします。

第26回参議院議員選挙のゆくえを担うQRコードとは…

今年は、賃金アップ勝利のための選挙になります。日本看護連盟の推薦委員会は全会一致で、新人の友納理緒（とものう りお）氏を選出しました。看護職国会議員を減らさないために、看護職の皆様の特段の理解とご協力が必要です。そのためには、新人であることから、認知度を高めるため、添付のQRコードを活用してぜひ広めていただきますようお願いいたします。（P8）

看護職の議員は看護の現場を守っている医療従事者のために働きます。昨年のアンケート調査にもありましたように、組織内候補予定者は専門性や看護職能団体の組織以外にも影響力を及ぼし、より政治家らしい振る舞いを看護職は期待しています。

看護職の活動は誰のため？

看護職の活動は、連盟会員・協会会員のためではなく、すべての看護職のため、そして国民の幸せのための活動です。働き続けられる看護職のために、昨年より国会で議論されております看護職の賃金引上げが今年2月から実施されます。168万人の看護職中、57万人から実施となりますが、すべての看護職に確実に実施されるためには数の力が必要です。働く看護職の皆様、多くの先輩看護職たちが背中を押し続けています。

どうか国政に向けた活動を展開している友納理緒看護協会参与へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

Greeting



日本看護連盟 会長
大島 敏子

初春のお喜びを申し上げます。

昨年は、COVID-19の感染症対策に明け暮れ、最前線で働く看護職に社会が注目し評価を高めた年でした。

皆様の看護実践に、心からの感謝と敬意を表します。

また、49回衆議院選挙では、自民党が単独過半数を獲得し、安定した政権運営が期待されます。日本看護連盟においても、2人の議員を国会に送り出すことができました。皆様のお力添え、ありがとうございました。

看護職給与の引き上げについては、当初の対象20万人を大幅に増員し57万人に、国の補助金で来年2～9月に1%程度の引き上げを措置し、10月以降は3%程度を診療報酬で行うということです。この3%が確実に看護職の基本給アップになったことを、各職場で見届けて頂きたいと思えます。

2022年の干支は、壬寅（みずのえとら）。「妊」の一部として「はらむ」「生まれる」という意味に加えて、「寅」は「演」に由来し「人の前に立つ」、演と同じ読みの「延」から「延ばす・成長する」という意味が込められています。2つを組み合わす壬寅には、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」の縁起のよさを感じられます。

7月には第26回参議院選挙が予定されています。「成長」「始まり」にふさわしい寅年にして参りましょう。



兵庫県看護協会 会長
成田 康子

看護連盟と看護協会の更なる連携

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスとの闘いから早、2年が過ぎようとしています。第5波が落ち着いた矢先にオミクロン株という変異株が出現し、今年も落ち着かない新年を迎えられていることと思えます。

昨年、兵庫県看護協会では2040年の社会を見据えて、「兵庫県看護協会活動のあり方-2040年を展望して-」をまとめました。その中で、本会が目指す看護を「時空を超えて創造する、つなぐ・つながる看護」「県民の誰もが自らの生き方を選択でき、どのような状況であっても心から幸せを実感できる生き方を支える看護」とし、目指す看護を実践していくために「看護の価値を広め、魅力ある職業にしていく」、「全世代型地域包括ケアを推進するため、地元根付いた看護を創造する」の2点を活動のあり方として掲げました。それを実現すべく、2022年度は取り組みます。

さて、今年は寅年です。寅年は「冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ華々しく生まれる年になる」と、言われています。看護協会と看護連盟が一層の連携を図り、政策実現に向けた生命力にあふれた1年にしたいと思います。今年も、支援・ご協力を宜しくお願い致します。

Withコロナ時代の看護政策

参議院議員

石田 まさひろ



兵庫県看護連盟の皆様、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新しい年の始まりを健やかに迎えられたことと存じます。

昨年も新型コロナウイルスとの戦いの1年になりました。現場は緊張と不安、疲弊の連続だったことと思います。それはコロナ最前線で戦う人だけでなく、すべての保健・医療・看護等の現場でも同様です。看護職たちは日々、精神をすり減らしながら懸命に日本の医療を守って下さいました。兵庫県看護連盟の全ての皆様に心より感謝を申し上げます。

今年は、昨年末に認可された経口治療薬が普及し、ワクチンの3回目の接種が進み、現場の負担軽減につながっていくことを期待しています。そしてアフターコロナのスタートが切れるよう引き続き努力を重ねてまいります。岸田政権発足と同時に看護職の賃金アップについての言及があり、その結果、9月までは1%、10月からは3%引き上げることになりました。しかしこれは「地域で新型コロナ対応等を行う医療機関に働く看護職」に限定されており、全ての看護職が対象となっていません。政府は公的価格評価検討委員会ですべての看護職を対象とした議論をすとしていますが、しっかりとした結果がでるよう働きかけを続けていきたいと思っています。

国会では今年もまた厚生労働委員会筆頭理事、参議院自民党国会対策副委員長を拝命しました。国会の運営が円滑に進むよう、交渉役として今年も走り回ります。まずは診療報酬改定、看護職の所得向上を含む本予算の成立を目指します。今年参議院選挙の年です。私たちの力を結集し、看護の力を世にみせられるよう頑張っていきましょう。私も精一杯務め上げます。そして何より看護職が「今日も良い看護ができた!」と感じることのできる環境を作るため、身命を賭して頑張ります。



石田議員と共に
みんなの声を聞く

キャラバン100

兵庫県内の医療施設等を石田議員と共に訪問させていただき、現場での切実な悩みや要望をお聞かせください。

国会の開催等々で、予定が直前にならないと決定しない場合がございます。1週間前までには、施設代表者の方へ、ご都合をお伺いしたいと思います。





衆議院議員

あべ 俊子

皆さま健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年の解散総選挙において、衆議院議員6期目を迎えました。今年も看護職の声を国政に反映させるため、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症との闘いが長く続きますが、看護師皆さまのご協力によりワクチン接種が進み、明るい光が見えております。心より感謝申し上げます。

先般の世界的なパンデミックは、医療だけでなく社会全体の危機管理体制見直しの必要性を明確にしました。まずは、経済安全保障としての国産ワクチン生産体制の強化に取り組みなければなりません。診療報酬だけで対応するのではなく、研究開発を担う文科省予算の確保を始めとして、生産体制の強化や製造したワクチンの買取り、さらには治療薬生産など、分野・省庁横断的な予算を継続して計上します。治験には各医療機関の参加が必要不可欠です。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

さらには、パンデミック初期に深刻化した個人用防護具の国内調達です。経済産業省が原発用にストックしていたものを使用するなどの対応も取られました。どこに、何が、どれだけ保管されているのかを把握することが重要です。これは政府レベルのみならず、各医療機関でもストックの『見える化』を、ぜひ進めていただきたいと思います。

コロナ禍では、地方自治下にある保健所に大きな負担が押し寄せました。各保健所の規模や体制を振り返ると、人員増加といった保健所の強化だけでは対応は難しいでしょう。医療機関、自治体（都道府県）と連携し、感染症者の受け入れを円滑に実施しなくてはなりません。マイナンバーカードの健康保険証利用などを活用し、感染症者の把握の効率化も期待できます。

今回のコロナ禍では、看護職の働きに多くの国民から感謝の声が寄せられました。育児や介護をしながら、第一線で患者を守る看護職の役割が広く認められ、看護職の賃金は岸田総理の所信演説でも言及されました。段階的な賃金引上げが決定したところではありますが、今後は、全ての看護職への恒久的な賃金向上の実現にむけて、引き続き努力してまいります。

いつの時も、政策立案の基本となるのは、現場の声です。誇りをもって看護職を続けられる職場環境の整備に貴連盟の皆さまと一緒に取り組んで参りたいと存じます。



かたくなに、ひたむきに、誇りを持って東洋羽毛は、精毛から縫製、仕上げのすべての工程において国内自社工場の「日本製」であることを守り続けます。



衆議院議員

たかがい 恵美子

清々しく希望みなぎる新年を謹んでお慶び申し上げます。兵庫県看護連盟の皆様には国民福祉の向上と看護政策の推進に変わらぬご支援を賜り心から感謝を申し上げます。また昨年は皆様の厚いご信任を得て、衆議院議員として新たな一歩を踏み出す栄誉に与りました。

党内では引き続き、新型コロナウイルス等感染症対策本部の副本部長、こども・若者輝く未来本部の事務局次長を務めさせていただいております。また新たに、性的指向・性自認に関する特命委員会の委員長、人生100年時代戦略本部内に立ち上げられた女性の生涯の健康に関する小委員会の委員長を拝命しました。衆議院においては、厚生労働委員会理事、決算行政監視委員会委員、東日本大震災復興特別委員会委員に就任しました。



いのちの最前線に立つ一人ひとりの思いを胸に、これからも現場感覚を忘れず精励する覚悟です。また私たちの悲願である看護職の処遇改善が、現政権の公約として掲げられています。十分な成果を導くことができるよう、しっかりと戦略を練って、粘り強く着実に取り組みを進めたいと思います。政治活動をともにする私たちには、仲間や後輩たちの未来のためにやるべきことがあります。時間を要する課題もありますが、諦めず投げ出さず互いの知恵を持ち寄り、地道な活動の継続を大きな力へと変えて参りましょう。

皆様にとりまして幸多き一年でありますよう心から願い、初春のご挨拶とさせていただきます。



バイタル機器連携ソリューション

EVI Cloud

バイタルデータをまとめて送信・まとめて管理。
データ入力業務の負担を軽減、業務効率を最大化します！

医療 IoT 実現への扉をひらく

電子カルテ	ナースコール	監視システム	ICV管理
↓	↓	↓	↓
バイタルデータ	臨床データ	検査・検査結果	処方データ

Healthcare IoT Library

つなぐ
あつめる
わたす
みせる

- 機器を指定しない機種選定が可能
- 機器追加・変更が安価で容易に
- 電子カルテへのリアルタイムな入力・記録を実現
- 誤入力・未入力の予防
- 記録時間の短縮・効率化

MISSION

医療業界の IT 分野に
様々な信頼されるソリューションを。
それが私たちの使命です。

Safe medical system 診療と安心を医療現場へ

e Doktor

株式会社イードクトル

06-6324-6222 9:00~17:00月~金
(祝日・弊社指定休日除く)

セミナー・製品勉強会・デモンストレーションのご用命は上記までご連絡ください

藤田ひさる顧問へのインタビュー 「看護と選挙」 最終回 (4回シリーズ)

精神科看護とのきっかけはどのようなことがあったのでしょうか？

学校卒業後、8年余り産科婦人科病院で働きました。加古川の産婆会の皆様にお世話になりました。中田助産院に移り多くの親切な方々と出会いました。隣接の寺院の夫人は和裁の先生でしたので、私も自分から進んで和裁を習い、袴を作る手前まで上達しました。そのころ、知り合いの勧めで加古川の精神病院に就職を勧められました。現在の東加古川病院です。当時も加古川は、食料難で芋畑が一面に広がり、キツネが出没し夜は怖くて歩けませんでした。当時の私は(26才)学生時代が一番良かったと思いながら精神科病院に引き込まれていきました。

「戦後の日本国憲法の改定ですべてが変わった」と言われましたが、印象的なことはどんなことでしょうか？

1. 選挙法の改正

昭和20年までは女性の選挙は認められず、資産家や成人男性だけが選挙権をもっていました。

1946年(昭和21年)看護協会が設立され、1959年(昭和34年)看護連盟が設立されました。すでにご存じのように第1回参議院議員選挙で井上なつゑ初代協会長が当選後、保助看法が制定され、厚生省医務局に看護課も新設されました。その後、第3回・4回の看護協会会長の落選を受けて看護協会は、政治活動できる組織を発足させる必要があるという判断をし、1959年(昭和34年)日本看護連盟を設立しました。
注：参議院議員が落選すると厚生省の看護課もなくされます。



2. 精神衛生法の制定

昭和25年、第2次世界大戦後、欧米から精神衛生の考えが導入され、精神衛生法が制定されました。この法律の設立によって今までの現状が少しずつ、変化していきました。精神障害者の私宅監査が禁止され、患者を入院させるという目的のため、都道府県に公立の精神病院の設置義務を課せられました。精神科看護の中では、患者・家族との信頼関係を求め人間性の尊重・治療者も信頼に満ちた体制が求められました。看護の仕事ができるような流れになったように思います。患者に対し特配米も許され、治療環境を整えるきっかけとなりました。それまでは、女性の看護者は病棟に怖くて入れませんでした。当時はほとんどが隔離拘束の措置患者でした。

3. 看護の先輩の活躍

戦争を経験し、戦後の看護制度の確立に力を注ぎ、国会議員としてキャリアを歩んできた国会議員の先輩の活躍があったからこそ、与党公認の国会議員を送り出すことができました。また、歴史的にも、看護職は自立できる職業として女性の近代化とともに制度化されてきました。

私も、先輩から東播地区長を命じられました。2年間、選挙があるから2年追加されました。石本茂先生と施設まわりをし、多くの仲間づくりができました。資金作りで看護職の靴下の販売等色々苦勞致しましたが、国会に看護職議員を送ることができ石本参議院議員等、多くの議員議席をおくことができました。

インタビューを終えて

7月20日(火)、藤田顧問は戦後の日本国憲法の改定に伴うたくさんの方々の看護の資料を整理され、私どものインタビューにお応えいただきました。

インタビューを終え藤田顧問の果てしなく続く人生に引き込まれました。それだけではなくこれからの果てしない別の物語が潜んでいるようにも感じられました。

藤田顧問様、ありがとうございました。

皆様、お読みいただきありがとうございました。

(文責 服部 玲子)



友納さんに聞こう！

わかりやすい看護と法律

第3回（3回シリーズ最終回）



とも の う り お
友納 理緒

日本看護協会参与
看護師・保健師・弁護士

Q. これまで看護師の医療訴訟に関わり、看護師に一番必要な法的整備は何か？

私は、患者さんの健康維持・回復のため日々忙しく働く看護職が、医療紛争に巻き込まれた際に不当に責められることがないように、看護の本質や看護職の業務の現状を司法の場に正確に伝えたいと考え、弁護士を志しました。

そして、弁護士になって10年、多くの医療事件や看護にかかわる法律問題に取り組んでまいりました。そのような中で出会うのは、長時間や不規則など過酷な勤務が原因で十分に休息が取れずに疲労がたまり事故を起こしてしまう看護職や患者・ご家族からの暴言や暴力への対応に疲弊する看護職の姿でした。私は、これまで、このような方々の代理人となり、患者さんやそのご家族と話し合いをしたり、裁判に対応したりしてきました。この活動を通して、看護の現状や看護職の思いが相手方に正しく伝わり、紛争に発展せずに事態が収束することを何度も経験し、弁護士という仕事にとてもやりがいを感じていました。しかしながら、それと同時に、経験を重ねていくなかで、「司法」の立場からでは解決できない問題があることを実感し、限界を感じることもでてきました。個別の事件が良い方向に解決をしたとしても、医療現場全体が変わることはなく、また、別のところで同じような問題が発生し、悩み疲弊する看護職が後を絶たないのです。

このようななかで、より多くの看護職が安心して快適に働くことができるようにするためには、「司法」だけでなく「立法」の力が必要だと強く意識をするようになりました。看護師の働き方を大きく変えるためには、平成4年の看護師の人材確保の促進に関する法律の制定に伴い施行・告示された「看護婦等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」を現在の働き方に合わせて改訂しなければなりません。

深夜業の回数制限や勤務間インターバルの確保については具体的な改善目標が明示される必要があります。また、患者や家族からのハラスメントについては、平成31年6月にパワハラを規制する法律（改正労働施策総合推進法）が成立したことに伴い、女性活躍指針法改正案に対する付帯決議として、「訪問看護や医療現場でのハラスメントへの対応策の具体的検討」が入りましたが、今後はそれにとどまらず、患者・家族からのハラスメントから看護職などを守る対策を事業主などに義務づけるなどより積極的な対策を盛り込んだ法律が必要になります。

これらの指針や法律の改正が正しい方向に進んでいくためには、現場で働く皆さんの声が必要です。皆さんとともに看護の問題を共有し看護政策を作り、それを法律によって実現することで、よりよい環境を作っていきたいと考えています。



とも の う り お を 応援 して ください

「とも の う り お」を応援して、ともに看護の明日をつくろう！
ご賛同いただける方は、QRコードからの登録をお願いします。



とも の う り お を 応援 する 会

施設訪問



令和3年12月7日午前、県立加古川医療センターへ施設訪問いたしました。浅田弘子看護部長、原田院長、病棟師長方々に対応していただきました。昨年感染者が増加した時期には、院内応援で不足した病棟には他の県立病院から院外派遣者を配置し運用した状況等の説明を受けました。その後、コロナ感染が落ち着いていた時期でしたので、仮設の重症患者専用病棟を見学いたしました。

役員・支部長との懇談会

午後から、兵庫県看護協会での研修前に兵庫県看護連盟の役員・支部長との懇談をもちました。こちらからの質問に一つ一つ真摯に受け止め、話されました。

研修会は、医療安全「裁判例から学ぶ法的責任に基づいた看護実践」でした。内容は、現場のスタッフにすぐに役立つ記録の大切さや家族の立場からの話があり、よくわかりました。



兵庫県看護協会ロビーの黄色いピアノを囲んで

兵庫県での友納理緒氏の決起大会 2022年5月29日（日）予定

2021年度近畿ブロック看護管理者等政策セミナー

日 時：2021年12月4日（土）10:00～16:00

場 所：ホテルニューオータニ大阪

参加人数：62名、兵庫県看護連盟から会長他8名参加

例年2日間の開催となるのですが、昨年度は新型コロナウイルス流行により中止となり、今年度は1日間に短縮された開催でした。

10:00～開催地の大阪府看護連盟の小阪佳代会長の挨拶にはじまり、大阪府看護協会高橋弘枝会長、日本看護連盟近畿ブロック協議会西城嘉子顧問、日本看護連盟大島敏子会長からの挨拶の後、5名の方々よりの講義がありました。



姫路獨協大学

学部長・教授 井上 清美

「国政報告」 参議院議員 松川 るい 先生

「看護と法律－ コロナ禍における課題」

日本看護協会参与 友納 理緒 先生

「日本看護協会の重点政策と重点事業について」

日本看護協会 田母神 裕美 常任理事

「看護職の視点からの政策提言」

舞鶴市議会議員 田畑 篤子 先生

「国政報告」 衆議院議員 たかがい 恵美子 先生

友納 理緒先生からは、今、どこの病院・施設もが直面している「院内感染対策」に対する法的責任の考え方、「看護職の業務」では保助看法と医師法、ナースプラクティショナー制度の考え方やコロナ禍においての看護職に対する「コロナハラスメント」への対応などについて分かりやすく講義して頂きました。舞鶴市議会議員の田畑 篤子先生の講義では、看護師を退職した後、市議会議員になられ障害を持つ子どもたちが小学校入学時に学校を選択できる、近くの支援学校に通学でき家族の負担を軽減するなど条例化に至った事をお話しされ、様々な問題を看護師ならではの視点で本当に支援の必要な方々に寄り添った活動をされている事をとっても力強く感じました。

(文責 清水久美子)

看護を取り巻く諸問題に関して、国政から地方行政まで、様々な視点から政策の動向について話題提供があり、講師陣は、それぞれにご自身の立場から現実的具体的な行動を紹介され、国と地方議員では、対峙の目線や活動の評価軸の相違など、興味深い内容でした。特に「現場への収入の引き上げ」の提言は、コロナ禍における社会的な話題性の高さが背景にあります。従来からの看護職の働き方や賃金の分配の在り方を改めて考える機会となりました。自治体看護職議員の「自治体政策の実現の取り組みの紹介」では、人々の生活支援の願いの実現としての活動の力強さを生き生きとイメージできました。

看護管理者・看護教育者には、看護職の役割発揮の視点、法や制度における課題を踏まえた現場マネジメントが求められており、基礎教育に携わる一員として、優先すべき問題の吟味と専門性を推進できる教育制度の改革の必要性を実感しています。久しぶりの集合研修参加は、自己の責務と未来を考える貴重な学びとなりました。





丹波市立看護専門学校
教務主任 大槻 弥生

今回のセミナーに参加する機会を得、新型コロナウイルスによる影響は多大であり、看護を取り巻く諸問題はまさに直結していることを強く感じた。

コロナ克服・新時代開拓のための経済対策として松川先生が多くを紹介されたが、看護師の特定行為に係る研修機関や指導者育成事業については、コロナ禍で医療が逼迫した今だからこそ安全で質の高い医療及び看護を提供するためには必須であると理解出来た。

友納先生の看護と法律では、看護基礎教育に携わっている関係もあり臨地実習施設の確保に苦慮した2年であったことも興味深く聴かせていただいた。院内感染が発生した時の法的責任については、感染対策の水準を満たしていたかが重要であり、その水準は日々変化している。新しい情報を常に得てマニュアルや感染予防対策を見直すことが求められる。感染が起こったときのために整備するのではなく、どんなときも最善の感染予防行動が取れることが最重要であると認識できたので日々の業務を見直し学生にも指導していきたいと思う。

新須磨病院

看護師長 松本 順子 (神戸西部支部長)

この度のセミナーに参加させていただき、色々な方面で活躍されている方々の、それぞれの立場からの視点からのご意見をたくさんお聞きすることができました。普段お聞きできないような発想で、初めて聞く話も多かったのですが、とても具体的でわかりやすい内容でした。先生方の講演はどれも内容が濃く、新たな発見もありとても参考になりました。

また、日々の業務に追われる現場での仕事の中ではなかなか感じる事の出来ない思いに、改めて共感できることがいくつかありました。また、こうして看護師として働いている間にも看護職のために私たちの環境を働きやすく整えるべく一生懸命努力されている人達がいるのだということを感じて安心でき、感謝しました。看護連盟はこのような働きを後押しするために、とても重要な役割を担っているのだと感じました。

はくほう会医療専門学校明石校
副校長 軸原 久美子

初めて参加させていただき、功績ある看護師の先輩たちにお会いでき感激しました。連盟や協会の新聞によく出ておられる方々ばかりで、自分自身が場違いではないかという気持ちになりました。最近学生の引率で、臨床の現場に行くと看護師の姿をみてがっかりします。看護が展開されていないのではないかなと思うからです。看護師が本来しなければいけない看護行為(食事・排泄・清潔等)を他の医療従事者が行っている場面を多く見かけます。また看護師は電子カルテの前に長時間座っている姿ばかりです。本当にこれでいいのか。看護師の存在がなくなってきているように感じます。保健師助産師看護師法による看護師の業に挙げられていることを、看護師が役割や責任についてそれぞれが改めて再確認しなくてははいけないと思いました。患者さんに合った看護を提供しなければならないと考えます。

国政政策については3名の方の講義を聞かせていただき、議員の方々为国に対して働きかけ、看護師の存在や看護師の待遇にご尽力して頂いていることも理解していると思っていましたが、直接お話を聞かせていただき、理解していなかったことや関心を持っていなかったことが分かり恥ずかしさを感じました。看護師のために努力されている議員の方々の存在を現職の看護師がどのように理解しているのかを把握していくことも大切であり又施策を伝えていくことも重要であると痛感しました。今回参加させていただき、今後の業務に役立てたいと思います。本当にありがとうございました。

令和3年度近畿ブロック看護管理者等政策セミナー



2021年度日本看護連盟通常総会不成立のなかでの報告

日時：2021年12月23日（木）13:00～16:00

場所：浜松町コンベンションホール

参加人数：32名 書面決議権573名

兵庫県看護連盟幹事 角谷 智子

令和3年度日本看護連盟総会は、COVID-19の感染拡大により3密を避けるため、オンラインでの事前説明会への参加と書面による決議権を行使する運営方法に変更された。12月23日当日は、集合会議とオンライン会議の併用による総会の開催であった。

会場参加は、各県2名に制限されていたが、総会開催に反対する道府県の不参加もあり、当日参加は20都県32名、書面決議権573名で、総会開催に必要な人数に42名不足しているため総会としては不成立となった。

大島会長より、日本看護連盟は看護職の国会議員を国政の場に送り、看護政策の実現に向けた活動をこれまで以上に強化・拡大していくことを期待し、しっかり見守り支援・協力していくこと。新スローガン「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」の通り、一人でも看護連盟会員を増やし、現場の声を政策につなげていくことが重要と挨拶があった。



また、会員増に向けて今年度より日本看護協会と協同して公的医療機関の訪問を行っていることも報告された。

第26回参議院議員選挙に向け、看護の代表として“ともものうりお”さんを推薦するために、東京都看護連盟会長が発起人となり応援する会が発足した。

私は、兵庫県の代議員代表として会場参加した。COVID-19感染拡大の中、看護職の活躍が世間に注目されている。全ての看護職の労働環境改善に向けて、確実に実現できるように看護職の代表を必ず国政に送りだせるように次期参議院選挙に取り組んでいく必要があると感じた。



兵庫県看護連盟事務所からのWeb参加した代議員

日本看護連盟創立60周年記念受賞者

(兵庫県看護連盟所属者)

- | | |
|-------|--------------------|
| 特別功労賞 | 去來川 節子 |
| 役員功労賞 | 鈴垣 育子 |
| 会員功労賞 | 船越 純子、加集 和喜子 |
| | 有田 克子、廣田 文代 |
| | 牧野 千賀子、井上 とし子 |
| 感謝状 | 藤田 敏見（株式会社マルアイ相談役） |



コロナ禍における

「ワクチン接種啓発活動」について議員の皆様とのリモート対談

衆議院議員の皆様および県議員自民党「看護を支援する議員の会」への働きかけ



- 期 間 2021年8月23日～9月14日
- 方 法 リモート対談 各15分
- 結 果 1. 衆議院議員10名
2. 県議員自民党「看護を支援する議員の会」30名

● 配布資料

「新型コロナウイルス感染拡大」に関する状況調査結果第1報・第2報

● 対談内容

1. 若者へのワクチン接種のスタートへの思い
2. 高齢者のワクチン接種状況を踏まえ若者に有効性のあるガイドラインの作成について
3. 看護職をはじめ医療従事者の声を聴いていただきたい

兵庫県知事選挙後の2021年8月、酷暑と豪雨の中、新型コロナウイルス急拡大の収束が見えず、兵庫県でも感染防止に歯止めがかかっておりませんでした。

そのような中、日本看護連盟大島会長から一人でも多くの若者たちのワクチン接種のために、兵庫県内の衆議院議員・県議員の方々と、兵庫県看護連盟会長が、コロナワクチンをテーマに対談を企画できないものかという提案をいただきました。若者のワクチン接種の啓発活動に看護連盟として積極的に取り組んでまいりたいことを各議員の皆様へ働きかけをいたしました。



議員の皆様からの主なご意見

1. 若者に、高齢者と違う対応を市町村レベルで取り組みます
2. 若い人への新型コロナ感染症対策は検査・ワクチン薬をもっと積極的に進めます
3. (外交官の経験から) 感染症に国境なし!
4. 空気感染対応では、換気と空気の清浄化のため地元の産業を応援します
5. 政府はデマ対策としてデマの打ち消しのために科学的に反論し、正しい情報を得たうえで自分の意志でワクチン接種をしていただきたい
6. 若者世代にワクチン接種を理解してもらうために①ワクチンの効果を正しく伝える、②ワクチン接種のマイナス面があっても命を助けることができるプラスの効果を選択する決断を推進する、③政策としてワクチンのプラス面を高め、マイナスを少なくする努力をすること!を約束します
7. 家族に医療関係者がいることで新型コロナウイルスに取り組む医療者(医師)の体験や徹底した感染防止のお手本にじかに触れることができました
8. 世代を問わずワクチン接種を進めていきます
9. 世界の中でも、日本が急速にワクチン接種を進め、国は11月初めには人口の6割以上の接種率を目指しました
10. ワクチン接種は①医療の側面と②社会的側面から正しい情報を伝えていく必要があります
11. コロナによってそれぞれの青春が失われていく!青春を感染させないようにしましょう
12. 国の役割は2~3カ月の供給計画をはっきり示すだけでなく、2カ月後、3カ月後はどうなるのかを示し、より多くの若者に接種してもらえるようにします
13. 若者がワクチンを接種しやすい環境づくりとメディアを通じわかりやすいメッセージを出します
14. 学校は閉めない、教育機関には正しい情報、ワクチン接種を判断しやすい情報を公開します
15. 若い人がインスタやツイッターで拡散できるアイデアが沢山あります
16. デルタ株の蔓延によってワクチンへの意識が変わったと思います。専門家からの正しい情報で若者は行動変容ができると思います
17. 若手のワクチン接種の課題として接種できる体制ができたとしても、コミュニティや会社組織の中で推奨する環境を作ることが大事です
18. 国民や県民の看護への期待が、コロナ禍、今まさに高まっている中で、看護師のカッコよさを現場から発信してほしいと思います
19. 世代を問わずワクチン接種を進めます

各議員の皆様、ご協力を頂き本当にありがとうございました。
益々のご活躍を祈念致します。
(服部 玲子)



神戸東部支部
神戸低侵襲医療センター
看護部長 齊野 尚美
(幹事・支部長)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者の受け入れをしないという選択から始まった、COVID-19対策。当院は、放射線治療・化学療法・緩和ケアを中心としたがん専門病院です。日々命と向き合って治療を受けている患者を支える看護師は、COVID-19患者を受け入れないからこそより緊張感を持ち、感染対策に取り組んできました。

受け入れない施設ではあるものの、実際は発熱患者の中にはCOVID-19患者も発生することもありました。COVID-19患者の担当は、看護師全員にアンケートを実施し、決定しました。また、組織として担当する看護師への処遇、看護師が安心して業務を遂行できるための環境提供を看護師主体となり実施してきました。看護管理者として最も大切にしていたことは、内発的な動機付けです。些細な事ですが、「おはよう」「お疲れ様」等の挨拶の際に「疲れていない？」「笑顔が気持ちいいね」などコミュニケーションを取るように心がけました。また、「ありがとう」の言葉を多く伝えることにしました。そのことで、看護師一人ひとりが自分にできることを積極的に行っていたと感じています。これからも、職員に関心を持ち、より高いパフォーマンスが出せるような関りを続けたいと思います。

阪神南支部

兵庫県立尼崎総合医療センター
EICU看護師長 三方 真貴子

新型コロナウイルス感染症の重症患者を初めて受け入れたのが2020年3月でした。スタッフは未経験の感染症への対応や重症肺炎患者の全身管理などに対して不安と緊張で張り詰めていました。その後、他部署のスタッフの応援を受けましたが、応援スタッフも慣れない疾患やICUという環境でストレスを感じていました。さらに感染防止の観点からベッドサイドケアの人数や時間の制限で思うようにケアができないジレンマがスタッフの気持ちを“しんどく”させていました。そこで私は、スタッフの気持ちをしっかりと引き出そうとしました。そして、一つ一つのケアに対して、一緒に喜び、悲しみ、時に叱り、承認するときは思いっきり承認していきました。それを続けることでスタッフの考え方を「できることに制限がある」から「制限がある中で何ができるのか」へとシフトチェンジすることができました。日々のカンファレンスと一緒にケアを考え、デスカンファレンスでは、悲しみを共有し、共に涙を流したことでICUスタッフと応援スタッフのチーム力が高まりました。それにより面会制限中の家族看護や腹臥位療法のポジショニングなどに積極的に取り組むことにつながっています。



～部下のやる気を引き出し支えるために～

(支部内の施設・病院の管理者に寄稿依頼)



北播・栄宏会支部

栄宏会小野病院

看護部長 **三枝 弘典**

(支部長)

当院での新型コロナによる感染対策が始まったのが、令和2年3月頃であった。もう1年と9か月もの間、感染対策を続けている。未知のウイルスとの闘いに、現場のスタッフは不安と恐怖の毎日である。

当院は、積極的なコロナ感染者を受け入れる病院ではないが、それでもいざという時のために、マニュアルの作成や物品の準備を進めた。未知のウイルスに対してどこまで準備したらいいのかと、悩みながらも進めなければならなかった。時には、現場との意見のぶつかり合いもあったが、すべてを万全というわけにもいかず後手に回ることもあった。感染対策の基本は、標準予防策である。未知のウイルスであっても、この基本に戻って対策をすることが大切、ということを知ってもらえるよう繰り返し伝えている。この対策がいつまで続くのかわからないが、新たなる生活として受け止めて進んでいかねばならない。そのためには、この先も続く現場での不安や不満に対して、1つずつでも解消し支援していくことが大切である。



但馬・南支部

公立八鹿病院

看護部長 **高階 優子**

山間部に位置する当病院も昨年は、新型コロナウイルス感染症への感染対策とワクチン接種へのコーディネイトに振り回された1年でした。高齢者の入院患者さんが多くを占める当院も、面会制限の中で、計画的なリモート面会を取り入れ、患者さんのメンタル面、認知症予防に心を砕きながら、職場と家庭の感染予防にピリピリしながら看護業務に明け暮れた日々でした。また、様々な研修が次第に、リモートで開催されるようになり、その操作に慣れたスタッフは増えました。今やこのリモート研修が「ありがたい」と言うスタッフが多くなってきました。このような中、どうスタッフのモチベーションを維持し、やる気を引き出しサポートするのか、それぞれの師長達もあの手・この手の得意分野を活かし、チャレンジしていますが、その答えやヒントが欲しい状況が続いています。

「今出来ることをする」との想いの下、一人ひとりがやりがい・働きがいを感じ、働き続けられる職場、環境作りを模索しています。その第一歩として、「何でも話せて相談でき、意見を聞ける」コミュニケーションの取りやすい人間関係を構築していくことが重要だと考え、毎日声かけしながら、病院内を走り回っている今日この頃です。

2022年度看護連盟会員を募集中です (入会期間：2022年4月1日～2023年3月31日)



連盟会員	<p>■正会員 会費 8,000円 (年間) (内訳：日本看護連盟会費5,000円 県会費3,000円) ・公益社団法人日本看護協会会員の方</p>	賛助会員	<p>■看護職賛助会員 (看護職の方) 会費 3,000円 (県会費のみ・年間)</p>
	<p>■特別会員 会費 8,000円 (年間) (内訳：日本看護連盟会費5,000円 県会費3,000円) ・正会員の経歴を有し未就業で、公益社団法人日本看護協会の会員ではないが、日本看護連盟の活動にご協力・ご支援頂ける方。</p>		<p>■一般賛助会員 (家族、知人等の一般の方、看護連盟が推薦する団体) 会費 500円 (年間) ・看護連盟活動に賛同して頂けるのであればどなたでも入会して頂けます。ご家族、ご友人にも広くお呼びかけ下さい。</p>
学生会員	<p>会費 無料 ・保健師・助産師・看護師又は准看護師の資格を得るために就学している看護学生で看護連盟の主旨に賛同いただける方を対象としています。ご入会いただきました学生会員の方には、広報誌をお届けいたします。</p>		

お問合せ先・・・兵庫県看護連盟 TEL:078-381-3150 FAX:078-381-3151

兵庫県看護連盟プロジェクト進捗状況

支部規約

県の規約に基づき支部規約の見直しを行いました。プロジェクトメンバーの意見を集約し、三役会議でさらに検討しています。今後、2月～3月に向け、各支部長にご意見を頂き、5月完成に向け、支部活動がスムーズに行える規約にしていきたいと考えています。（桐月 順子）

広報

各世代の会員の皆様の手にとっていただける五弁の花・News Hyogoを目指し、編集しています。会員の皆様の声が、活かされる内容を検討していきます。ご意見・感想を事務局までお寄せ下さい。（仁木 美枝子）

青年部より

3回にわけ開催されたポリナビワークショップ2021

「看護×テクノロジー」

オンラインでの開催でしたが、多くの方に参加いただき無事に終わることができました。参加してくださった皆さまありがとうございました🌟

これからも看護について発信していきますので、興味のある方ぜひ研修や委員会に参加してみてください。

お待ちしております^^（伊東 明日香）

（ポリナビInstagramより）

#看護師#看護#医療#テクノロジー#看護連盟#ワークショップ#兵庫県#看護連盟青年部#看護学生#研修会#ポリナビ#コロナに負けるな#AI#nurse#technology



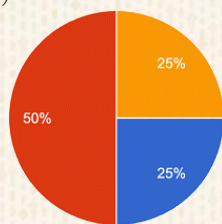
会員増と施設訪問

現在、各支部の病院・施設のリスト作成、整理するためのフォーマット作りを行っています。各支部のリストを基に、会員増に繋げていけるよう施設訪問等に役立てていきたいと考えています。（清水 久美子）

研修会後のアンケート結果

あなたが投票に行く頻度はどれくらいですか？

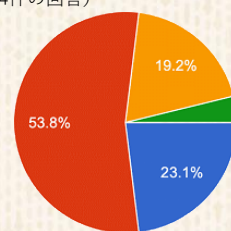
(26件の回答)



- 毎回行く/行きたい
- なるべく行く/行きたい
- たまには行く/行きたい
- 行かない

投票に行こうと思いましたが？

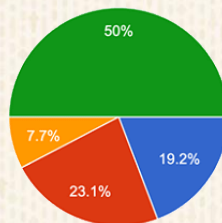
(24件の回答)



研修を受けて

看護と政治は関係があると思う

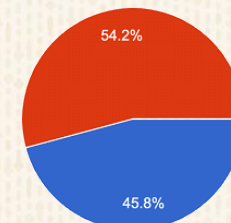
(26件の回答)



- とてもそう思う
- そう思う
- どちらとも言えない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

看護と政治は関係があると思う

(24件の回答)



編集後記

寅年の寅は、「引く」や「伸」と同系の語で、中国の前漢の事を記した歴史書「漢書（律曆志）」では、草木が伸び始める状態を表すものと解釈されており、新しいことが始まるという意があるそうです。広報委員は、皆様のご意見を基に内容を検討し、編集や装丁に工夫し、新しいことも取り入れ活動していきます。

このVoL.67の装丁はいかがでしょう。ご意見を兵庫県看護連盟のE-mail renmei-h@ceres.ocn.ne.jpにお寄せください。

広報委員：仁木・平川・古川・山本

新広告

真珠の郷 英虞湾より
ネックレス 指輪 装身具販売

真珠の奥出加工

奈良県磯城郡田原本町

TEL.080-6912-5846 / 0744-32-3835

オンラインショップからもご購入いただけます。

奥出加工

検索

